



「女性」シリーズ
「かわどい亭」のみなさん
活動紹介は裏表紙にあります。

西川町 議会だより

2016.7.15 97号

発行 山形県西川町議会

6月定例会報告	2頁
補正予算	4
第3セクターの経営状況	6
一般質問	7
臨時会	12
行政視察	13
議会と町民の対話の集い開催	14
議会の動き	15

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。

旧大井沢小中学校を活用して (仮称)環境自然学習センターを設置予定

平成28年6月定例会は、6月6日から9日までの4日間の会期で開催されました。
町からは28年度一般会計補正予算など6件の案件と、3件の条例の一部改正が提出され、慎重に審議した結果、全ての案件を全員賛成で可決しました。議会は1件の請願を採択し、意見書を提出しました。一般質問は5人の議員が5件について行いました。

6月6日の議会全員協議会で、旧大井沢小中学校を活用して(仮称)環境自然学習センターを設置する概要が提示されました。

これまで整備してきた大井沢自然博物館、自然と匠の伝承館、県立自然博物館、水の文化館、丸山薫記念館などと連携しながら、「日本一の自然教育学習先進地づくり」を目指し、その中核となる施設としてこのセンターを設置したいとの説明がありました。

議会は初めて詳細の報告を受けましたが、内容をよく吟味して総工費や維持費等を慎重に検討したいと思えます。

利用活動のあり方

- ①町全体で自然教育・学習を推進する施設
- ②観光協会が催行する従来の教育旅行の受け入れ
- ③協定を結んでいる大学等のカリキュラム展開支援
- ④自然体験等を目的にした子ども会や親子、家族などの受け入れ

保持する機能

- ①インストラクターの常駐と指導体制の整備
- ②自然学習素材等の展示・上映
- ③ICT活用による情報発信

今後の予定

これまで検討委員会で3回にわたり協議してきたが、平成28年度に具現化委員会を設置して、運営方法等を検討し、実施設計をしたい。29年度に改修工事をして、運営主体の公募を行い運営を開始したい。

質疑・応答

問 設置しても、どの程度の利用があるのか。投資対効果の面からみると大いに疑問である。決定過程はどうなっているのか。

答 旧大井沢小中学校の自然学習の実績や、体験教育ができないかと検討してきた。

今後、具現化委員会でさらに検討したい。決定したという報告ではない。

問 100人規模の宿泊施設は全国的にも珍しいと思うが、全国での成功例も研究して進めてほしい。



▲教育旅行で訪れた宮城県の中学生们 (日本一の大栗前)

答 教育旅行の受け入れは、民宿等も減り、今は100人を超えると難しい。この施設を活用して、町と提携している大学の学生を受け入れ、西川町をフィールドにした事業展開をす

る。さらに、移動学校や移動クラスも想定し、自然体験を通して、町で暮らす人々の生活を学んでもらう。自然教育は、西川町でなければならぬという作り方をしたい。



▶旧大井沢小中学校全景

- ④100人規模の宿泊機能
 - ⑤里山社会・文化研究所の併設
 - ⑥研究図書室の設置などとする。
- ※ICT
コンピュータネットワーク
サールビスなどの総称

運営体制

- ①設置主体は町とし、施設の基本的な維持、管理、修繕を行う。
- ②運営及び日常の施設の維持管理は、設置目的を達成できる団体等に委託する。

問 箱ものだけが立派ではないけない。先進地視察などを通して、町民の中から指導者が育つような施策を。

答 広域的な視点で、いろいろな意見を聞きながら人材育成に当たっていく。



一般会計は、当初予算に1,695万円を追加し60億4,995万円になりました。また、国民健康保険特別会計は1,272万円を追加し7億5,047万円に、町立病院事業会計の資本的支出は1,089万円を追加し7,848万円に、水道事業会計の資本的支出は40万円を追加し7,459万円となりました。
(全員賛成)

補正予算

質疑・応答

地図訂正業務委託料

問 道路や水路は国有地であり勝手に無くす事ができないが、地図図に表示しなかった理由は何か。

答 全国の課題であり、調査は町も昭和52年から始めている。当時の調査は、現存しない水路、道路を表示せず、利用実態に合わせた形で、

地籍図を作成した。

問 どういうきっかけで発覚したのか。

答 個人の土地の売買で、法務局から指摘された。

円、7人槽以上が6万5千円を増額するものである。

公民館等施設整備補助金

問 どの公民館の整備か。

答 陸合公民館の改修工事である。

町民体育館陸合分館耐震改修

問 旧陸合小学校校体育館を耐震化し、ゲートボール場、グラウンドゴルフ場として使用する予定だが、どのような形に出来るのか。

答 主に冬場の高齢者の施設として、新たに人口芝を張り、通年使用する。

主な補正予算 (万円未満四捨五入)

■総務費	
地図訂正資料作成業務委託料	344万円
総合交流促進センターリニューアル工事	182万円
総合交流促進センター2階事務室及び水の文化館トイレ修繕費	83万円
■衛生費	
臨時職員賃金	129万円
健診結果取込レイアウト改修委託料	60万円
合併処理浄化槽設置事業補助金	94万円
■土木費	
町道太郎網取線補償費	85万円
■消防費	
消火栓修繕工事費	40万円
■教育費	
公民館等施設整備補助金	35万円
町民体育館陸合分館耐震改修工事	570万円
■西川町立病院	
統合系医療情報システム・窓口システム機器更新	972万円
療養環境改善・トイレ改修	300万円



▲耐震化する旧陸合小学校校体育館

防災行政無線 (同報系) 整備工事 請負契約締結

競争入札の結果、2億2248万円で仙台市の株式会社日立国際電気東北支社が落札しました。

入札金額が基準価格を大幅に下回ったので、町は※低入札価格調査制度実施要領により、次の2点について調査した。

① 契約の内容に適合した履行がなされるのか
② 契約を締結する事が公正な取引の秩序を乱すおそれがあるか、著しく不相当であると認められるか。



▶秋田県藤里町の防災行政無線戸別受信機

質疑・応答

問 地域への説明はいつごろか。

答 議会終了後、できるだけ早くに行いたい。

質疑・応答

問 解体工事はいつまでか。

答 工期は平成28年7月31日までである。

問 新しい体育館は、当初の予定通り、完成するのか。

答 29年7月末まで完成する。

条例の一部改正

問 議会の議員その他非常勤の職員に公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例

☆西川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

☆西川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (すべて全員賛成)

町民体育館解体 工事請負契約締結

調査の結果、株式会社日立国際電気東北支社は、本工事の履行が可能であると判断した。
(全員賛成)



▶解体中の町民体育館

意見書の提出 請願審査

1件の請願があり、審査の結果、全員賛成で採択し、関係大臣に意見書を提出します。

採択された請願の意見書

☆地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体の業務は社会保障や地区交通、人口減対策、被災地の復興等増大しており、これに見合う財政の確立を目指す必要がある。こうした状況にも関わらず、社会保障と地方財政を2大ターゲットとした歳出削減の議論が加速している。今年度から「トップランナー方式」が導入され、「インセンティブ改革」と合わせて地方財政全体の安易な縮小が危惧される。これらのことが進めば、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかである。

このようなことに対し、2017年度の政府予算編成にあたっては、国民生活を犠牲にするものでなく、社会保障予算の充実や財源保障機能・財政調整機能といった地方交付税制度の根幹を揺るがさないよう、地方財政の充実・強化を求める意見書

(全員賛成)

第3セクターの経営状況報告

第25期 西川町総合開発株式会社

ふるさと納税が大幅に増加し、返礼品としてふるさとクーポンの売り上げが大幅に増加しました。地ビール山部門も「山形ビール」の売れ行きが良く売り上げが増加しましたが、銘水館リニューアル工事の影響もあり、純売上高は前期対比99%、純損益はマイナス168万円となりました。

純資産額 4586万円
 純資産赤字額 5414万円（万円未満は四捨五入）

質疑・応答

問 熊本大震災に自然水などの支援を行ったのか。

答 2リットルのペットボトルを3千本用意していたが、当時、交通手段が非常に悪く、山形県の危機管理課や日本赤十字社を通じても支援ルートがなかった。

問 月山自然水は西川町のブランド商品として生産した。㈱大沼が発売元であるが、現在は当初の約3分の1の売り上げしかない。今後町独自の販売はできないのか。

答 現在交渉しているが、当初は㈱大沼のネームバリューの大きな力を借りないと販売ができなかった。町独自の販売はなかなか難しい。

問 結果的に、一般のお寺と炊出しボランティアアグループへ2リットルのペットボトル60本の支援にとどまった。

第10期 株式会社米月山

主力商品である白い発芽胚芽米「月山まんま」及び「つや姫」の販売実績は、数量が5・8トン、金額が428万円で目標を達成できませんでした。一方、月山まんま25%入りはえぬきなどのミックス米は、平成26年度に引き続き子育て応援米給付事業やふるさと納税返礼品への使用もあり、売り上げが増加しました。

27年度も経営改善を目指しましたが、「つや姫」の仕入価格が昨年に比1.14倍と過去最高の高値となった影響もあり、294万円の赤字となりました。

純資産額 ▲238万円
 純資産赤字額 2238万円（万円未満は四捨五入）

質疑・応答

問 毎年厳しい経営状況である。このまま経営を続けていけるのか、専門の経営診断など指導を受けるべきでないのか。

答 農協から仕入れる米価の中に農協経費が含まれている。流通費、倉庫費、事務費等で高くなっている。毎年厳しい状況である。

問 米月山にはうどん、そうめんなどの乾麺類がある。以前は引き物や贈り物等で町内に流通していたが、最近では見ることがない。営業的な問題なのか。

答 社員が辞めて、少人数での経営のために十分な営業ができなかった。5月に営業担当の社員を採用し、個人客が増えた。



▲米月山の乾麺セット

た商品販売体制を推進している。

冬季間は どうするの

問 農産物貯蔵庫の倉庫に雪室ハウスを設置し、野菜を貯蔵した結果、保存状態も良いということだった。今後、さらに検討したいということだが、検討した結果はどうだったのか。

答 雪室ハウスは温度・湿度とも外気よりも安定しているが、循環扇の数や吸気管の長さなどを検討する必要がある。

問 多額の費用をかけて整備した、名水公園内のステージをほとんど使用していないが、今後の活用予定は、

答 春は山菜市場、夏はビアガーデン等四季を通じて、各種イベントを展開していきたい。

問 今年度も引き続き出荷が容易なハウス内貯蔵を検討し、いきいき直売会、県、町と連携し、冬季間の農産物出荷体制づくりに努める。

周辺整備

問 「バスストップの移転を東日本高速道路株式会社へ働きかけている」と答弁しているが、進捗状況はどうなっているのか。

答 移転するとすれば、面積を拡張するか、チェン脱着所以外の想定をしなければならぬ。今後ともさらに関係機関に推し進めていく。

新社長の抱負は

問 今年の株主総会で新社長に就任した、高橋副町長の経営方針と抱負を伺いたい。

答 会社設立25年目を迎えるリニューアルした。レストラン、売店、地ビール、温泉を揃えている道の駅は、県内でもここしかないと思うし、PRをしていきたい。

問 レ스토랑、売店、地ビール、温泉を揃えている道の駅は、県内でもここしかないと思うし、PRをしていきたい。

答 新たなスタートの時期での社長就任となったが、町の産業振興並びに交流人口増加のために、尚一層心を引き締め、社員とともに努めていきたい。

一般質問

銘水館 再度運営方針を問う

町長 雪室ハウスの貯蔵を検討する



佐藤 耕二 議員

1か月間の入れ込み数は

問 オープン後1か月間のお客様の入れ込み数と売り上げは、昨年同期と比べてどうだったのか。

答 売店及びいきいき直売所の客数は1万9888人で、昨年度

夏季に何を販売する

と比較して151.7%である。売上額も売店が前年対比161.0%、いきいき直売所は前年対比185.1%となった。

問 夏季期間は西川町の特産品としてどんな作物に力を入れていくのか。

答 わらび餅の加工製造販売やたけのこご飯の素など、夏に向けて



▲銘水館内の直売所コーナー



▲月山山菜市場

一般質問

一般質問

集落機能 維持するための行政支援をどう進めるのか

観光立町 町主導で環境整備の取り組みを

町長 集落支援員を配置する

町長 一体化した施設整備の方針で進めている



宮林 昌弘 議員



飯野 咲子 議員

問 高齢者の依頼作業、シルバー人材センターの受託作業の職種拡大と人員確保ができないか。

**労働力不足の力
バー策は**

「町内各地域の発展なくして、町の発展なし」本町の高齢化率は、40%に達し山形県内でトップである。人口減少と高齢化が同時進行する中で、集落機能が年々低下しており、ムラの存続が危惧されるので、次の質問をする。

答 これまでの協議では、公衆トイレ及び集会施設、バス待合所や観光インフォメーション機能を一体化した施設整備の方針で進

問 トイレ、看板、志津会館の整備について、平成27年度からの整備検討委員会での進捗状況は怎么样了なのか。

志津玄関口の整備は

霊峰月山が活気を帯びている。世界の人々を月山に迎えるにあたり、山積している課題をどう進めるのか。

問 町長の判断で、整備を進める時期に考えていると思うが。

答 一番は土地問題で土地問題が解決できれば、町でも十分責任を持ちながら事業を進めたい。



志津温泉の入口

問 長く稼働していない山小屋も整備の必要があると思うが、町長の考えは。

答 整備や管理は、各所有者が行うものである。

問 月山のさらなる観光振興を図るため、姥沢地区の宿泊施設で構成する月山山小屋協議会と協議していききたい。

問 整備したいが資金面が大きな問題でいるのか。

答 町では有利な貸付条件となる貸付原資を、商工会に委託している。解体すれば営業もやめる。そのよう

**姥沢地区の山小屋
周辺整備は**

な場合の返済能力も含めて、総合的に勘案しなければならぬ。



姥沢の宿泊施設

問 観光の拠点地づくりとして、もっと整備すべきでは。

答 月山観光開発(株)で宿泊施設を借りた。特に夏のトレッキングの時も利用できるよう、春から秋にかけて通常営業する新たな取り組みを行なっている。

問 生産拡大や雇用拡大につながるが、きのこの菌の培養の取り組みを進めてみては。

答 昨年、西川町きのこ等生産協議会を立ち上げ、どうすれば生産向上が図られるのか研究、検討をしている。

**きのこ菌培養の取
り組みは**

問 取り組みができない一番のネックは何か。

答 新たな菌を作るのは、一つの町村ではまだまだノウハウがない。できれば県の林業試験場で新たな菌を作ってもらいたいと思うが、西川町に合った菌があるのかも含めて検討する。

問 (仮称)地域づくりセンターを設置し、専属集落支援員を1人配置し、集落機能

**持続可能なコミュニ
ティづくりとは**



敬老の集い

答 シルバー人材センターでは、積極的な就業開拓や継続受託の推進を行なっている。それとともに、受託業務の各種技術講習会を開催し、技術習得と人材育成に努めている。

を維持していく計画であるが、その手順と手法をどう考えているか。

答 現在の行政区、公民館等の地域組織を整理、統合し、一元化するセンターの設置にあたっては、今年度モデル地区を指定し、課題を把握しながら進めていきたい。

農地の荒廃防止策は

ムラが衰退すると最初に山が荒廃化し、次に耕作放棄地が多くなる。その対策と地域農業の担い手確保をどう考えているか。

問 最初に山が荒廃化し、次に耕作放棄地が多くなる。その対策と地域農業の担い手確保をどう考えているか。

**高齢者が厳しい冬を
乗り切るためには**

1地区1人の配置で、週5日の勤務体制、月額報酬は16万6千円、任期は3年を想定している。

答 農協などとの連携により、4個人1法人に対して、農地面積約17ヘクタールの農地の集積化が図られている。また、担い手育成確保対策については、一昨年に担い手育成協議会を立ち上げた。新農業人フエアなどへ積極的な参加の支援を行い、昨年に1人、今年度も現在1人が町内での就農を希望し、まもなく移住する。少人数だが、毎年実績を上げている。

問 除雪ボランティア隊や除雪ヘルパーの高齢化と人員確保をどうするか。



本道寺地区の春の風景

福祉対策を考えるべき。

答 平成25年度から、除雪事業者などに依頼し、町が補助を行う方式に変更した。一方、24年度から地域毎に21の除雪ボランティアが組織化され、高齢者の方へ対応している。

今年度は、プロ集団等の育成、組織化を含めて検討を行い、さらに充実していきたい。

5人の一般質問

5人の一般質問

教育委員会 事務事業点検の結果は

教育長 芸術文化鑑賞事業は参加者が多かった



佐藤 幸吉 議員

平成26年度の事業について行なった10項目の中から、次の2事業に絞り質問をする。

月山にしかわ大学

・事業内容

- ①公民館生涯学習大会
 - ②小中学生芸術鑑賞事業
 - ③文化講演会
 - ④町民芸術鑑賞事業
- ・今後の対応
魅力あるテーマと講師を選定し、生涯学習推進につなげていく。

26年度の点検評価を踏まえて、27年度の成果は上がっているか。

文化講演会は、芭蕉の足跡をテーマにして行なった。参加者は大ホールの定員の半分で、これだけで判断すれば成果が上がったとはいえない。しかし、参加者にとっては極めて興味のある講演で、終了後の質疑応答が30分にも達するなど内容的には良かったと判断している。

芸術文化鑑賞事業は、室井滋さんから3人による絵本朗読ライブショーで、大ホールいっぱい参加者であった。内容も大変良かった旨の感想をいただいた。小中学生向けの文化鑑賞会での演劇も良い評価を得ており、相対的に成果はあったと判断している。

鑑賞の結果をどのようにフォローしているか。

講演会や芸術鑑賞などの結果は、参加者の反応や感想、意図した企画と講演などの結果、さらに講演料なども参考にしながら評価を行なっている。明確な評価を行うことは難しいが、次の企画に生かしている。



▲芸術文化鑑賞事業

学校支援地域本部

・事業内容

- 学校、家庭、地域が一体となり学校教育活動を支援する。
- そのためにコーディネーターを1人配置する。
- 今後の対応
継続して支援活動

をしていくためにコーディネーターの役割を再認識し、地域住民から支援を得られるように情報を発信する。

活動が地域住民の理解を得るための手立てはどのようなものか。

事業実施後は、学校だけでなく、子ども達の様子や協力者の活動内容を、保護者をはじめ地域住民に広報している。今後は新たに、コミュニティスクールだよりの発行の中で事業を周知して、協力を仰ぐ。

※コミュニティスクール
小中学校の運営に地区住民が参画する学校運営協議会

学校支援地域コーディネーターは、小学校と中学校での役割があると思うが、1人だけなのか。

今までは小学校に関連するものがほとんどであった。今年度からは、週2日の午前中は中学校勤務とする1人体制で対応する。

(仮称)地域づくりセンターと学校支援地域コーディネーターが連携を図り、効率的に運営できないか。

(仮称)地域づくりセンターの運営等の骨格が見えてきた時点で、考えてみたい。



▶西川町コミュニティスクールの紹介記事

林業施策 積極的に進めるべき

町長 林業の町を積極的にPRしたい



横山 修 議員

※西山杉：北は西川町から、南は朝日町の南北に伸びた区域から産出される木材

西川町の最大の資源は森林資源であるが、町の林業施策は停滞しているように思うので、次の質問をする。

町民への周知は

林業を取り巻く状況変化を町民に伝えてきたのか。

町民へのPRは指摘のとおり不足していた。今後、※西山杉の利用拡大に向けた指針と合わせ、県内でも有数の林業の町、西川町を積極的にPRしていきたい。

経営指導は

各財産区は林業経営ができる組織である。収益を上げるために、町ではどのような経営指導を行なってきたのか。

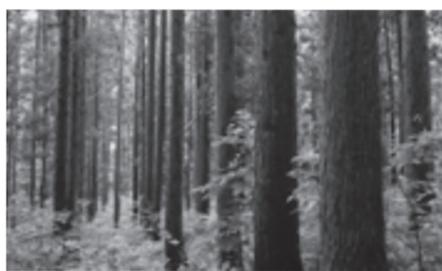
財産区に対する町の指導は、町有林運営委員会を通じながら、これまで行なってきた。

A材の増産

平成26年度を基準に31年度には、素材生産量を約1・8倍にする計画だが、A材の割合が減る。B材以下は赤字になるので、いかにA材を増やすかが課題。その施策をどうするか。

※A材：製材用木材
※B材：集成材や合板用の木材

林道・作業道の拡充・整備をする。また、西山杉利用促進協議会で協議をする場を作りたい。



▶手入れされた町内の杉林

ストックヤード

森林組合からストックヤード(貯木場)設置の要望が出ているが、町として取り組むのか。

学校運営に住民参画(西山杉)を導入

ポイラー設置

木質バイオマスエネルギーを進めるのか。

公共施設のポイラーを導入したい。水沢温泉館はポイラーの更新時期に合わせながらと考えている。決してやめたわけではない。



▶鶴岡市のバイオマス発電所

温泉館は25年度にポイラー設置の計画があったが、国の予算を断った経緯がある。その後動いていない。動くことが重要と思う。

水沢温泉館に、チップポイラーを設置したいことは当初から変わらない。ただ、今回銘水館のリニューアルを先に実施した。

第1回臨時会 4月28日開催

西川町過疎地域自立促進計画の一部変更の専決処分の承認をはじめ、4件の条例の一部を改正する条例の専決処分の承認、平成27年度補正予算の専決処分の承認の6議案が上程されました。

☆西川町過疎地域自立促進計画の一部変更
(全員賛成)

☆西川町町税条例等の一部を改正する条例
(全員賛成)

☆西川町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例
(全員賛成)

☆西川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
(賛成8、反対1)

☆西川町過疎地域固定資産税免除条例の一部を改正する条例
(全員賛成)

☆平成27年度一般会計補正予算

ふるさとづくり寄付金の増額に伴い、296万円を追加し57億5818万円とするもの
(全員賛成)

質疑・応答

問 ふるさとづくり寄付金は、27年度当初予算では600万円ほどの見込みであったが、6200万円の寄付があった。これらの有効利用は。

答 それぞれの年度ごとに、計画を持って活用し、特色あるまちづくりに使用できるように検討していきたい。

第2回臨時会 6月30日開催

町民体育館新築工事に係る契約の締結について審議し、出席議員全員賛成で可決しました。
(1人欠席)

契約金額
7億7220万円
契約相手方
升川建設(株)

質疑・応答

問 工事期間中は駐車場が狭くなる。交流センターあいべでの大規模なイベントがあった場合、駐車スペースをどのように確保するのか。

答 東側の第2駐車場を含めると120台駐車できる。それでも不足するイベントの場合は、近隣の駐車場を借りるなどの対応を行う。

全議員 菊づくりりに挑戦

平成27年12月25日、町に対し産業建設常任委員会では、「菊を活かしたまちづくり」の政策提言を行いました。提言内容は、菊に対する町民等の意識醸成や、観光誘客の増加を目指した菊まつりの創造など具体的なものです。

特に伝統ある西川菊まつりは、今年で81回目を迎えます。しかし、後継者不足や、菊に対する関心の低下により、年々出品数が減少しています。かつての華やかな菊まつりを取り戻したい、また出品数を増やしたいという思いから、提言を行った議会として、全議員が菊づくりに挑戦することにしました。

提言の一つである町主体の講習会が6月14日と7月8日に開催され、議員も参加し指導を受けました。大半の議員が全くの素人で、育てられるか不安ではありますが、一生懸命頑張っています。菊まつりを町民の皆様と盛り上げたいと思います。



▶6月14日の講習会

行政視察

平成25年豪雨災害後の対応は

村山電気水道事務所 西川浄水場

議会では、平成25年7月の豪雨により長期にわたり断水した水道状況を確認するため、村山電気水道事務所内の西川浄水場と沼山取水施設を見学しました。西川町は水にこだわった町づくりを行なっています。自然水だけでなく、水道供給事業にも目を向け行政に反映できればと思います。

村山電気水道事務所の概要

正式には山形県企業局村山電気水道事務所といい、6つのダムの電気事業と、村山地区6市6町の40%の水道水を供給している、村山広域水道用水供給事業を管理している。村山広域水道は、事業費679億円をかけ、平成3年4月から本格給水を開始した。

浄水能力強化の進捗状況

25年の豪雨で濁度3000度の水が入り、天童市が最長9日間など長期間にわたり断水した。社会的影響とライフラインの重要性から、浄水能力の強化に取り組み、次の改善策を講じ、現在500度

- の濁度に対して、通常供給ができるようになった。
- ①薬品注入の強化のため、注入機の増強と貯槽の増設
 - ②沈殿池へ中間取り出し設備の設置
 - ③汚泥の乾燥施設である天日乾燥床の増設

質疑・応答

問 最近寒河江川の濁りの回数が多いようだが、上流での土砂流入が原因なのか。

答 そういった実感があるので、上流の対策を要望していきたい。

問 年間の汚泥の量はどのくらいか。またどこに処理しているのか。

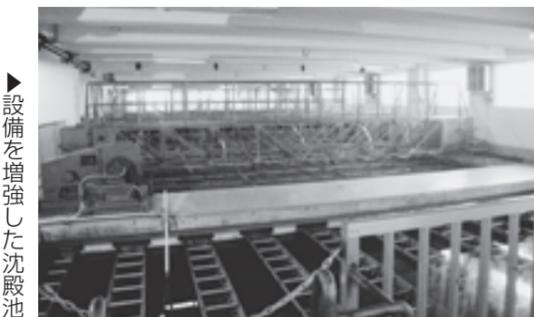
答 年間1300m³でタンク200台分ぐらいである。処理業者が搬出し、建設用の吹き付け材等に転用している。

問 今まで寒河江川への油の流入はあったか。

答 ここでは水槽でタナゴを飼育しているが、毒物が流入したときに警報を出す魚類監視装置で検査している。

問 水質検査に金魚等の魚を使っているのか。

答 平成19年3月にあり給取水口に油種検知装置を設置した。



▶設備を増強した沈殿池



▲吉川にある村山電気水道事務所

～親しまれる「議会だより」
をめざして～

募集! 議会だより読者モニター

よりわかりやすく、読みやすい「議会だより」
にするために、**読者モニターを募集します。**
中学生や高校生の皆さんも大歓迎です。
ボランティアとしてのご協力をお願いします。

- ▼活動内容 議会だよりの感想をアンケート用紙に記入
- ▼応募締切日 8月22日(月)午後5時
- ▼応募先 西川町議会事務局
電話：74-5055 FAX：74-2601
E-mail：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

これまで寄せられた主なモニターの声

- ・見出しが簡潔で読みやすい
- ・対話の集いの内容がわかりやすい
- ・観光協会のキャラクター「ガッさん」のイラストを取り入れてみては
- ・行政視察で見たものを生かしてください
- ・計画実施後の追跡は必要だ

※モニターの皆さんから寄せられた意見の一部を議会だよりで紹介します。

議会の動き

議会全員協議会

- 4月28日 道の駅にしかわ外構工事等
- 6月6日 防災行政無線整備工事契約等

議会運営委員会

- 4月22日 第1回臨時会の運営
- 5月24日 第2回定例会の運営
- 6月20、21日 議会行政視察「栃木県」
- 6月27日 第2回臨時会の運営

総務厚生常任委員会

- 4月18日 事務調査「高齢者福祉対策」等
- 4月28日 行政視察「村山電気水道事務所」
- 6月8日 請願審査等

産業建設常任委員会

- 4月20日 今後の事務調査の進め方等
- 4月28日 行政視察「村山電気水道事務所」
- 5月17日 事務調査「林業」等
- 6月8日 事務調査「林業」等
- 7月8日 林業制度学習会

広報公聴常任委員会

- 4月27日 平成28年度の編集体制
- 5月25日 山形県町村議会広報研修会



▲西川小学校を視察する富山県滑川市議員

視察受け入れ

- 5月25日 議会と町民の対話の集いの持ち方
- 6月8日 議会だよりレイアウト会議
- 6月15日 編集会議
- 6月17日 編集会議
- 6月27日 第1回校正
- 6月30日 第2回校正・アドバイザー指導
- 7月5日 第3回校正
- 7月8日 第4回校正
- 7月12日 全国町村議会広報研修会
- 5月10日 中山町議会「議会広報誌」
- 5月25日 富山県滑川市議会「放課後子どもプラン等」
- 6月29日 福島県鏡石町議会「議会活性化」

語ろう! 西川のために 第6回「議会と町民の対話の集い」開催 意見を! 未来のために



▲昨年の、議会と町民の対話の集い

議会では今までの「回り」をわたり、町民の皆さんと町政や議会活動について対話してきました。しかし近年、マナー化になってきたのではという反省があります。そこで今年には各種団体の皆さんからも、団体の問題や意見を伺いたいと思い、婦人会、老人クラブの2団体と新たに対話の集いを開催します。また同時に、各地区でも対話の集いを開催します。今回は5地区で行いますが、30年度までで全地区を回る予定です。他の地区の方の参加も大歓迎します。皆さんとともに、西川町の問題や将来を語り合いましょ。

◆日程

期 日	開始時刻	地 区 団 体	会 場	担 当
7月25日 (月)	午後7時30分	睦 合	睦合公民館	伊藤哲治・佐藤幸吉・横山 修 佐藤耕二・大江広康
7月26日 (火)	午後7時30分	海 味	海味公民館	古澤俊一・宮林昌弘・青山知教 奥山敏行・飯野咲子
7月27日 (水)	午後7時30分	原・沼山	沼山多目的集会センター	伊藤哲治・佐藤幸吉・横山 修 佐藤耕二・大江広康
7月28日 (木)	午後7時30分	水 沢	高齢者コミュニティセンター	古澤俊一・宮林昌弘・青山知教 奥山敏行・飯野咲子
7月29日 (金)	午後7時30分	本道寺	本道寺地区集会センター	伊藤哲治・佐藤幸吉・横山 修 佐藤耕二・大江広康
8月1日 (月)	午後1時	婦人会	交流センターあいべ	全議員
8月5日 (金)	午後2時	老人クラブ	交流センターあいべ	全議員

※7月1日のお知らせで掲載しました商工会との対話の集いは、商工会の都合により来年に延期します。

村山地方 町村議会議長会 自治功労表彰



■議長在職4年
前議長
井場 榮治さん
(水沢)

永年にわたる地方自治の振興発展に対する功績により、このたび自治功労表彰を受賞されました。

議会だより96号の2ページ、特別職員の給与に関する条例で、一部の町民から誤解しやすい箇所や、誤った表現があるとの指摘を受け、次の3箇所について訂正します。

- ①「三役の給料を数%ずつ引き上げる」との表示は誤解を生むとの指摘
→「三役の給料の減額幅を半分にする(下段の別紙参照)」に訂正
- ②「議会は議員修正予定案を提出することができなく」は一部の議員は提出できなくの間違いでないか。
→「一部の議員は議員修正案を提出することができなく」に訂正
- ③「質疑も一人3回までの制約があり」は自分たちが決めた規則ではないか。
→「昭和63年に制定した西川町議会会議規則により、質疑は1人3回までの原則があり」に訂正

議会だよりは、町民の皆さんに読んでいただける、そしてわかりやすい紙面づくりに今後も頑張っていきます。

「女性」シリーズ 4

かわどい亭の活動

会長 伊藤 直子 さん (中央) (吉川)
副会長 高橋みつ子 さん (左) (吉川)
副会長 松田由美子 さん (右) (吉川)



地域を元気にしたい

かわどい亭は、旧川土居小学校を活用し、料理を通して吉川地区を盛り上げ地域の活力になればと、平成25年に立ち上げた団体です。現在13人の会員がおります。発足当初には、廃校を活用した場所での食事提供の取り組みについて、最上地域の鮭川分校へ視察に行きました。また、まちづくり応援団の方々への昼食の提供や、地区の秋祭りの時には、吉川地区の方々が出した野菜で料理を提供したり、少しずつ活動を積み重ねてきました。

さなぶり御膳

28年度の大きな事業として、5月29日に「さなぶり御膳」の提供を行いました。現在ではあまり目にしたことのない、二の膳付きの漆器の御膳を使用し、メニューは笹巻き・山菜の和え物・よもぎ餅など11品と決め、宣伝チラシを町内全域

多くのご協力に感謝

に初めて配布しました。人数が集まるのか不安でしたが、予想以上の47人にお越しいただきました。帰り際には、「おいしかった」「花にも心を和ませていただいた」「また来てみたい」等うれしい声をたくさん寄せいただきました。

今後、夏にはビアガーデン、冬は根菜類を主とした御膳を提供する予定です。

このような活動は、漆器や皿を頂くなど、多くの方々の協力があって成り立っています。

また吉川区役員の方、地域支援職員の方にも、営業日に合わせて掃除、草刈り等の環境整備をしていただいております。多くの方々のご協力とご支援があったからこそ、活動を続けてきました。ありがとうございました。

これからも、食事を通して笑顔あふれる交流の場が広がるかわどい亭に！

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
9月です

(9月2日～15日の予定)



▲ 花に彩られたかわどい亭の入口

そして多くの地域内外の方々が気軽に足を運んでくださるようなかわどい亭にできればとスタッフ一同思っております。

編集後記

6月30日は各神社で「夏越の大祓い」が行われました。この行事は、常に清らかな気持ちで日々の生活にいそむよう、自らの心身の穢れ、災厄の原因となる諸々の罪・過ちを払い清めることを目的にしています。

私もこの半年間を祓い清め、常に初心を忘れず、町民の方々のことを考えて行動することを誓います。

夏越の大祓いが終わると本格的な夏を迎えます。夏の暑さと誘惑に負けないでお互い頑張りましょう。

(佐藤 耕二)

《発行・編集責任者》

議長 伊藤 哲治

《編集委員》

委員長 佐藤 耕二

副委員長 飯野 咲子

委員 奥山 敏行

委員 大江 広康

●ご感想お寄せください。